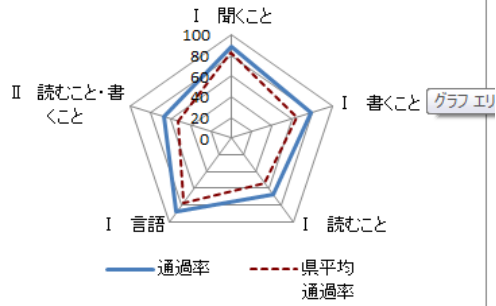


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 79.8%, 県 68.0%)

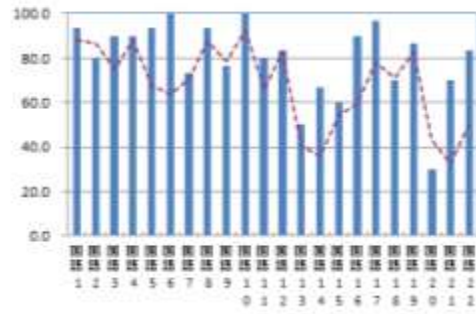
領域別平均通過率

領域別平均通過率(国語)

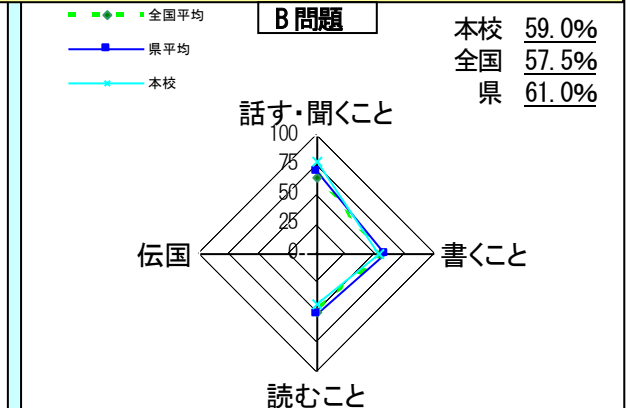
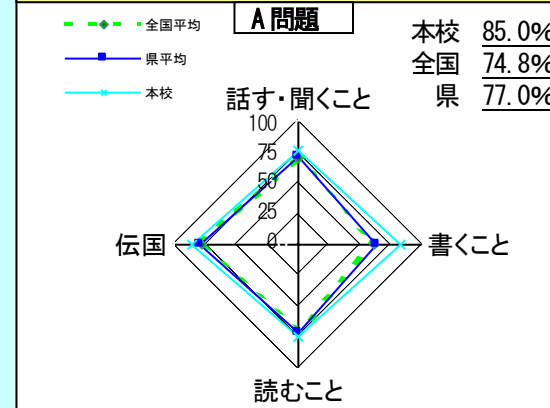


設問ごとの平均通過率

設問ごとの平均通過率(国語)



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎提示された資料から目的に応じて情報を正しく取り出すことに課題がある。(通過率 30.0%)
- ◇物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる問題に課題がある。(正答率 21.4%)  
条件に合った叙述を取り上げることはできているが、それを基に自分の考えをまとめて書くことができていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業等)

- ◎長文を速く正確に読むために、授業の最初に教材の速読を行う。文章だけでなく図やグラフ等の資料から目的に応じて引用して意見文を書く等の活動を取り入れる。スキルタイムを活用して、①大意を決まった字数で書く、②類題を1問ずつ行わせ、解答の説明を必ず行う、③段落ごとに要点を一文でまとめる、または、中心文に線を引く、等の取組を行う。また、低学年から、問題文を正確に読み取ることを積み重ねていく。
- ◇条件を与えてそれを基に自分の考えをまとめて書くことを低学年から積み重ねていく。いろいろな教科の授業の中で条件(①与えられたキーワードを使って学習のまとめを書く、②実験の結果を基に自分の考えを書く。③提示されたグラフ等から読み取ったことを基に自分の考えを書く、等)を設け、自分の考えを書く活動を進めていく。
- ※小中一貫した取組については、多様な情報から必要なものを読み取り、条件に合った叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめて書く活動に重点を置く。

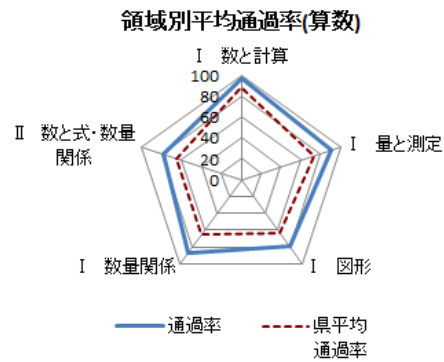
◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				4年生学期末テスト	4年生標準学力テスト	4年生H29基礎基本テスト	4年生学期末テスト
目標値				75%	70%	70%	75%
実施後数値							

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				5年生学期末テスト	5年生標準学力テスト	5年生H29全国学力テスト	5年生学期末テスト
目標値				80%	75%	A80% B58%	80%
実施後数値							

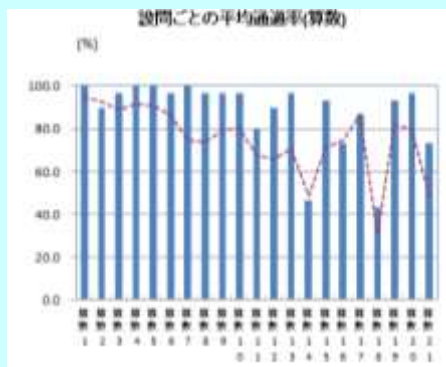
来年度に向けて

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 87.9%, 県 74.3%)

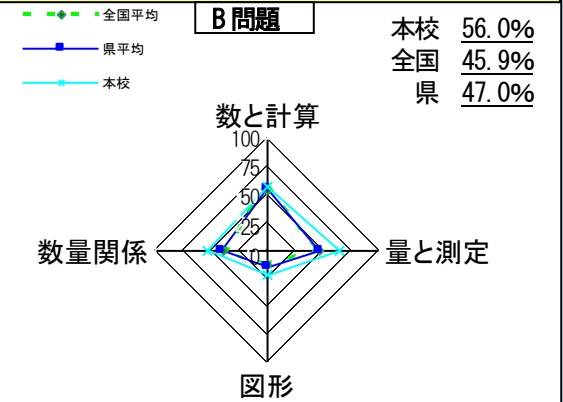
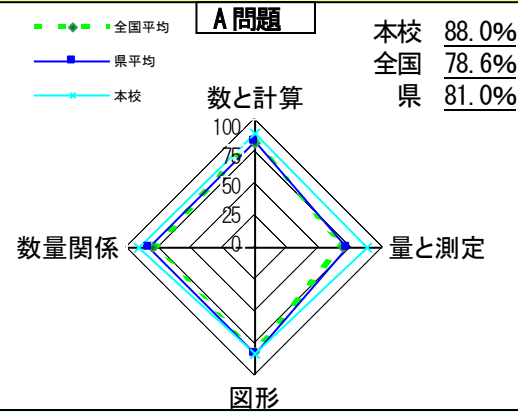
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎二つの折れ線グラフを関連づけて読み取る問題に課題がある。(通過率 43.3%)

二つの折れ線グラフを比較するときに、グラフの傾きにだけ注目し、目盛りや数値を読み取って比較することができていない。

◇直線の数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題場面に適用する問題に課題がある。(通過率 14.3%)

幅がいくらになるかは理解しているが、それを直線の数に直して表現することができていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

◎折れ線グラフの学習において、傾きだけでなく、目盛りや数値を読み取る力の定着を図る。二つ以上のグラフを比較する場合には、数値を正しく読み取ることが大切になってくることを特に意識して指導を行う。棒グラフ・円グラフ・帯グラフにおいても、目盛りや数値等正しく読み取る力の定着を図る。また、理科や社会科においてもいろいろなグラフを正しく読み取る力の定着を図る。

◇類題に数多く取り組むことによって、出題の意図を正しく理解させ、解答させていく。日常生活の事象を数理的に捉える問題を積極的に学習に取り入れていく。また、4年生で学習する平行な直線の性質や5年生で学習する倍数や約数の意味など、それぞれの学年での指導を確実に身に付けさせていく。

※小中一貫した取組については、多様な情報から必要なものを読み取り、図・グラフ・表・式の数学的表現を利用して、自分の考えをまとめて書く活動に重点を置く。

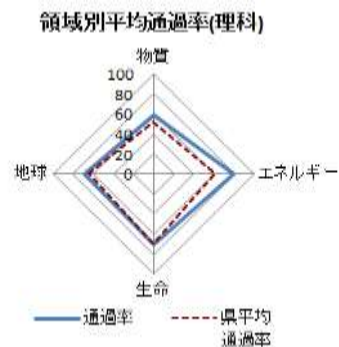
◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				4年生学期末テスト	4年生標準学力テスト	4年生H29基礎基本テスト	4年生学期末テスト
目標値				75%	70%	70%	75%
実施後数値							

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				5年生学期末テスト	5年生標準学力テスト	5年生H29全国学力テスト	5年生学期末テスト
目標値				80%	75%	A80% B50%	80%
実施後数値							

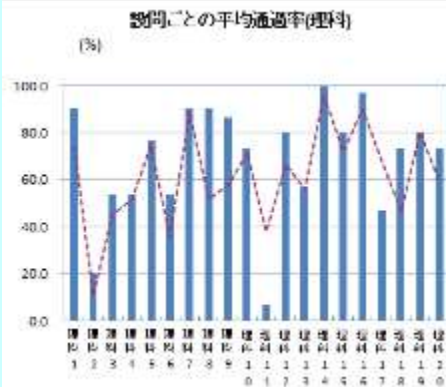
来年度に向けて

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 69.0%, 県 61.7%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎① どうしてそうなるのか、実験結果の根拠・理由を理解していないことに課題がある。(通過率 20.0%)  
おしちぢめられた空気が元に戻ろうとする時、いろいろな方向におしかえす力がはたらくということが理解できていない。
- ◎② 理科用語や実験器具の正しい使い方の習得に課題がある。(通過率 6.7%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

- ◎① 授業の中で、課題→確かめるための実験と結果予想・予想した理由→実験→実験結果→考察(まとめ)のように授業のパターンを決めることで、理由・根拠等を理科的用語を用いて書くことができるようにしていく。また、実験の説明図等を書く活動も取り入れていくと同時に、「なぜ」を大切にまとめてさせることを続けていく。
  - ◎② 虫めがねの正しい使い方を指導すると同時に、各学年において、理科用語や実験器具の正しい理解と使い方の指導を体験を通して進めていく。
- ※ 小中一貫した取組については、多様な情報から必要なものを読み取り、事象について、理由・根拠等を理科的科学的用語を用いて書く活動に重点を置く。

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				4年生学期末テスト	4年生自校作成テスト	4年生H29基礎基本テスト	4年生学期末テスト
目標値				80%	75%	70%	80%
実施後数値							

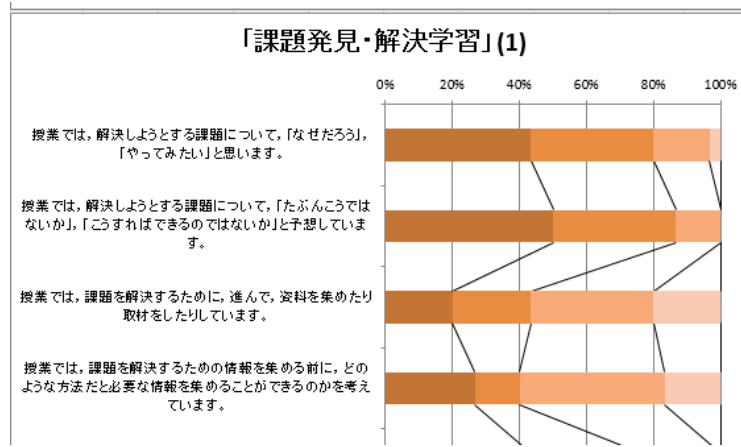
  

◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3年生学期末テスト			3年生学期末テスト
目標値				80%			80%
実施後数値							

**来年度に向けて**

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）

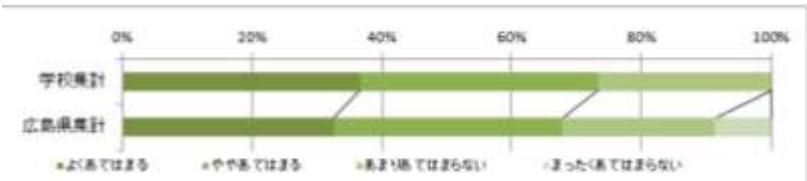
(1) 生活・学習



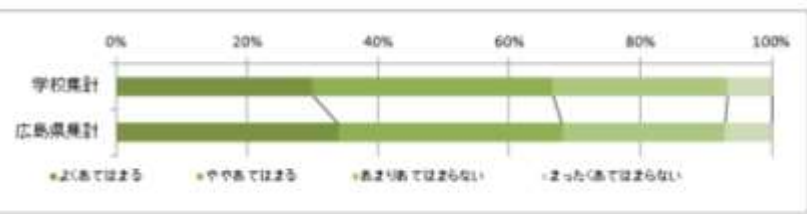
	児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	「授業では、課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えている。」ことに肯定的評価40.0%	国語科や社会科の授業の流れの中に、「どのような方法だと必要な情報を集めることができるのか」を話し合う場を位置付ける。	4～6年	肯定的評価50.0%	児童アンケート調査	2月		
全国	「自分には、よいところがあると思う。」ことに肯定的評価75.9%	道徳の授業や全校集会・縦割り班活動・学級集会等の行事を中心に、達成感や自尊感情を高める活動を仕組む。	1～6年	肯定的評価80.0%	児童アンケート調査	2月		

(2) 教科

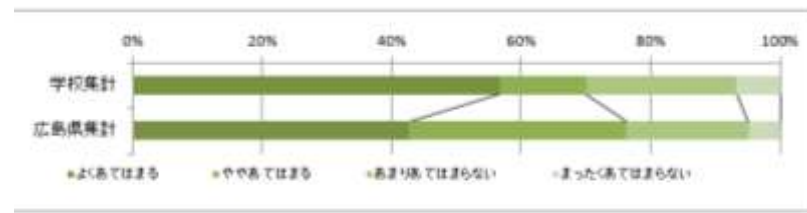
国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。



算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では、自分の考えや予想をもとに観察や実験の計画を立てています。



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本 「国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしている。」ことに肯定的評価73.3%	授業終末の「今日のなるほど・明日のために」を、書かせた後発表させるなどより丁寧に取り組んでいく。	4～6年	肯定的評価75.0%	児童アンケート調査	2月		
	全国 「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てをくふうしている。」ことに肯定的評価62.0%	相手を意識した発表を考えさせると同時に、発表後に、まわりの児童に「うまく伝わったか」を確認していく。	4～6年	肯定的評価70.0%	児童アンケート調査	2月		
算数	基礎・基本 「算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明している。」ことに肯定的評価66.7%	問題のとき方や考え方をペアトークする場を設け、そう考えた理由を必ず付け加えるよう指導する。	4～6年	肯定的評価70.0%	児童アンケート調査	2月		
	全国 「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。」ことに肯定的評価79.3%	最初の解決方法を確認した後、必ず「他には？」の声かけを続けることで、もっと簡単に解く方法を考えさせていく。	4～6年	肯定的評価82.0%	児童アンケート調査	2月		
理科	基礎・基本 「理科の授業では、自分の考えや予想をもとに観察や実験の計画を立てている。」ことに肯定的評価70.0%	授業の流れのパターンを再確認する。自分の考えや予想を確かめるためには、どのような観察や実験が適当なのかを常に意識させながらの計画を立てよう、指導する。	4～6年	肯定的評価75.0%	児童アンケート調査	2月		